

研究のまど No.2

山口市立大内小学校 教諭 西村史代
(やまぐち総合教育支援センター長期研修教員)

みなさま、こんにちは。西村史代です。今年もどうぞよろしくお願いいたします。3学期は、1・2学期に6年生とともに考えてきた「いじめを生まない学校づくり」の取組を全校に広めていく研究を行う予定です。

今回は、1学期に行った6年生の授業の内容についてお知らせします。

■ 「いじめを生まない人間関係づくり」1時間目

平成29年の6月から7月にかけて、6年生の学級活動の授業を3時間行いました。

1時間目に、「いじめ防止対策推進法」の「いじめの定義（第2条）」や「いじめの禁止（第4条）」について学習し、「どのような行動がいじめにつながるのか」「どのような時にいじめにつながる行動を起こしやすくなるのか」を考えました。その結果、「友だちとけんかする等してイライラしている時に、無視や暴力等のいじめにつながる行動を起こしやすくなる」ということが分かりました。イライラすることは誰にでもあるため、いじめは自分にも関係のある身近な問題だということを改めて確認することができました。



■ 「いじめを生まない人間関係づくり」2時間目



2時間目は、いじめを生まない学校をつくっていくための方法を考えました。国立教育政策研究所の生徒指導リーフ「いじめの未然防止Ⅰ」に、いじめ加害に向かわせる要因として取り上げられている「友人ストレス」「不機嫌怒りストレス」を緩和する方法について話し合った結果、「自分の言いたいこと、やりたいことを何でもするのではなく、相手の気持ちも考えて行動する」「友だちが何かをしてくれた時にすぐ『ありがとう』と言う」等のたくさんの方法が挙げられました。その方法一つひとつは特別なことではなく、普段の生活の中で今までもやっていたことでした。つまり、普段の生活の中でお互いに気を付けて行動していく

ことがいじめを生まないことにつながっていくのだと気付くことができました。

■ 「いじめを生まない人間関係づくり」3時間目

3時間目は、2時間目に考えた方法を全校に広めていく取組について考えました。6年生が学習したことを他の学年にも分かりやすく伝え、全校で「いじめを生まない学校づくり」に取り組んでいくためです。その結果、「集会を開いて、学習したことを劇にして伝える」等、学年全体で11の取組が挙げられました。



そこで、2学期に11の取組のそれぞれについて具体的な行動計画を立てる組織である「SIO（ストップいじめ大内小）実行委員会」を立ち上げました。9月下旬に実行委員を募集したところ、学年の約半数に当たる54名が集まりました。昼休みに何度か集まって、11の取組ごとにグループに分かれ、それぞれがとても意欲的に話し合い、行動計画を立てることができました。



とても意欲的に学習する6年生で頼もしいです。次回は、2学期に行った授業の内容についてお知らせします。